

## 平成 1 8 年度予算内示結果について

### 1 内閣府本府分は、

**総額 2 9 百万円 (対前年度 3 百万円(13%)増)**

予算の内訳は、

「中間書庫システム」を構築するための基本構想の検討 ( 1 5 百万円 )

電子媒体である公文書等の移管・保存等についての検討 ( 6 百万円 )

民間に散逸した公文書の状況の調査 ( 4 百万円 )

特定重要政策に係る文書保存の検討 ( 4 百万円 )

### 2 独立行政法人国立公文書館に係る運営費交付金は、

**総額 1 , 8 6 9 百万円 (対前年度 2 4 百万円(1.3%)増)**

新規に計上された事業としては、

国際的公文書館活動への参加・貢献経費として、国際公文書館会議 ( I C A ) 執行委員会の日本開催経費 ( 1 0 百万円 )

アジア歴史資料の更なる利用促進のための次期システム移行経費 ( 3 0 百万円 )

公文書館本館建物の耐震等調査経費 ( 1 5 百万円 )

(参考)

## 平成17年度国際会議出席報告

### 1 第7回国際公文書館会議東アジア地域支部 (EASTICA) 総会及びセミナー

開催日程：平成17年(2005年)9月13日(火)～16日(金)

開催場所：ウルムチ(中国)

出席者：菊池国立公文書館長他4名出席

テーマ：必須記録の管理と災害予防計画

概要：

- ・ 日本、中国、韓国、モンゴル、カザフスタン、マレーシアから約100名が参加。
- ・ 理事会及び総会において、2007年の総会及びセミナーを日本で開催することが決定された。(2006年には、モンゴルにおいてセミナーを開催することとなっている。)
- ・ セミナーにおいて、カナダ国立図書館公文書館からの招待者が、災害時や緊急事態に対応するために、組織が必要とする情報を含む「エッセンシャル・レコード」の管理と災害予防計画について講演がなされた。また、中国、韓国、日本がそれぞれ災害予防計画の事例を発表した。

### 2 第38回国際公文書館円卓会議 (CITRA) 年次総会及び執行委員会

開催日程：平成17年(2005年)11月25日(金)～12月1日(木)

開催場所：アブダビ(アラブ首長国連邦)

出席者：菊池国立公文書館長他2名出席

テーマ：グローバル化時代の記録とアーカイブズ

概要：

- ・ 各国のA会員(連邦/国立公文書館)及びB会員(国レベルの専門職団体)セクション代表等約80カ国160名が参加。
- ・ 菊池館長は、ICA副会長として年次総会、執行委員会、CITRA事務局会合等の運営会議に出席。また、CITRAの運営責任者として開会式で挨拶を行うとともにセッション開始に先立ち、会議テーマについてスピーチを行った。また第3セッションの議長を務めた。
- ・ セッションでは、政府機関や企業の良好なガバナンスの実現や、政治腐敗の防止におけるアーカイブズの役割、戦争や天災で被害を受けた公文書館の対応と防災対策等についての発表があった。
- ・ 次回の執行委員会を日本で開催することが決定された。(会期は2006年5月22日から25日まで)